

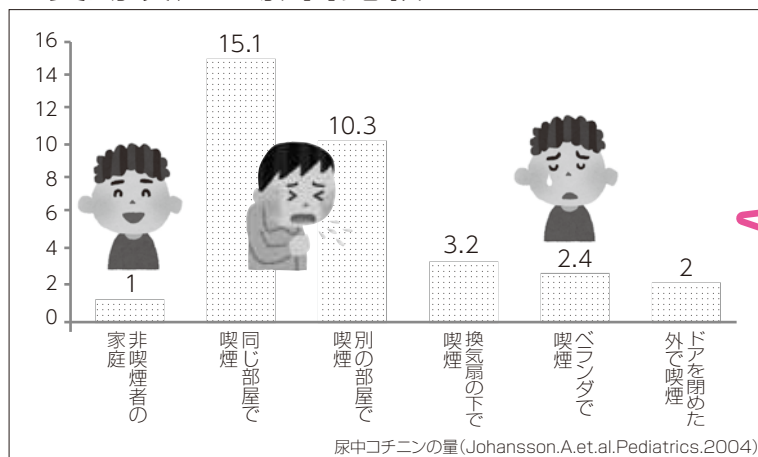
健康とびしま21第2次計画 トピックス

たばこの煙から子どもを守ろう

たばこから出てくる煙や喫煙者から吐き出された煙を吸うことを「受動喫煙」と言います。

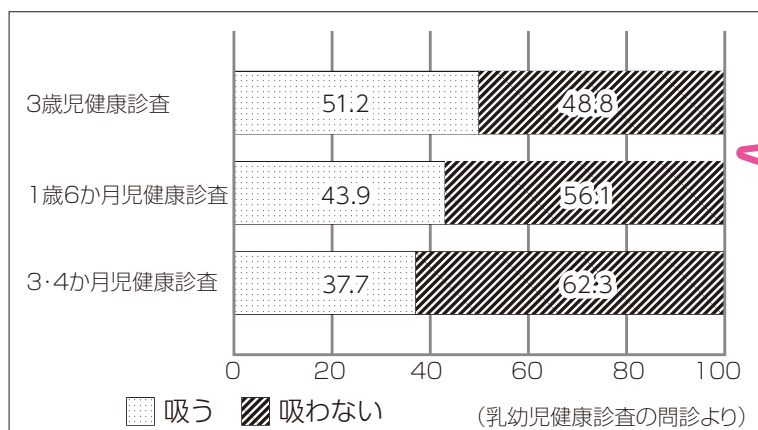
たばこの煙には200種類以上の有害物質が含まれており、吸っている本人だけでなく周囲の人、特に子どもの健康に大きな影響を与えます。

●受動喫煙の影響比較



たばこの煙を吸うと、ニコチンという有害物質が身体に取り込まれ、コチニンという物質になり尿から排出されます。非喫煙者の家庭の子どもを1とし、値が高いほど受動喫煙の影響も大きくなります。

●村の同居家族の喫煙状況（平成23～25年度平均）



同居家族の喫煙者割合は**約4～5割**となっており、2人に1人の子どもに受動喫煙の機会があります。子どもをたばこの害から守るため、家族みんなでたばこについて考えることが大切です。

健康とびしま21第2次計画では、たばこに関する次のことを進めていきます。

- ①たばこの影響や疾患に関する正しい知識の普及
- ②受動喫煙防止に関する知識の普及・健康教育
- ③禁煙を希望する人への禁煙相談・指導（すこやかセンター内保健福祉課で相談を行っています）